

『ふりかえり もんだい7』

上の絵のたのしいかぞえかたをかんがえます。
□の中のすうじにあつたかぞえかたで書こう。

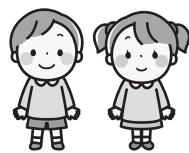
【れい】



① かもめ



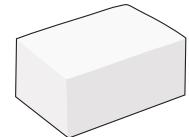
一 いつこ



② こども

4 よにん
一 ひとり6 ろくわ
一 いちわ5 ごにん
2 ふたり8 はちわ
2 にわ

3 さんこ



⑤ とうふ

5 ごちよう
一 いっちよう4 よんたま
一 ひとたま6 ろくだい
一 いちだい

④ きやべつ



③ くるま

10 じゅつちよう
2 にちよう10 じゅつたま
2 ふたたま9 きゅうだい
3 さんだい

文の中の□にあうことばを、あとの□からえらんで書こう。おなじことばは、二どつかえません。つかわないことばもあります。

① 外は

ほかほか

してきもちがいい。

② カメは

のそのそ

とあるく。

④

ばたばた

とそうぞうしい。

③

さくさく

とした、はごたえがする。

だらだら

のそのそ

ぽかぽか

例

きみには、トイレスうじを
まかせていいかな。

②

あしたの天気は、はれるらしい。だから、

例

おかあさんがたくさん
ほめてくれた。

③

おとうさんとこうえんで
やきゅうをしよう。

とちゅうまで文が書いてあります。つづきの文を
かんがえて書こう。

①

テストでまんてんをとった。そうしたら、



② いえ

7 ななけん

一 いっけん

9 きゅうけん

5 ごけん



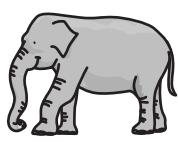
① はっぱ

8 はちまい

一 いちまい

9 きゅうまい

2 にまい



【れい】

一 いっとう

3 さんとう

上の絵のたらしいかぞえかたをかんがえます。
□の中のすうじにあつたかぞえかたで書こう。



⑤ いす

7 ななきやく

一 いっきやく



④ いか

8 はちはい

一 いっぱい



③ はし

7 ななぜん

一 いちぜん

10 ジゅつきやく

3 さんきやく

10 ジゅっぱぱい

4 よんぱい

10 ジゅうぜん

2 にぜん

文の中の□にあうことばを、あとの□からえらんで書こう。おなじことばは、二どつかえません。つかわないことばもあります。

① ともだちに

くすぐす

わらわれた。

② タマはいつも

ぐるぐる

している。

③ えんそく。朝から

うきうき

する。

④ かぜが

そよそよ

とふいている。

うきうき
にこにこ
ごろごろ
そよそよ
くすくす
わんわん

例

てんきよほうでは、雨は
よるになつたらやむらしい。

③ いま、外は雨そとあめがふつている。でも、

例

となりのせきの子に
かしてもらろう。

② えんぴつをわすれちゃった。そうだ、

おなかがすいて、えさを
ほしがっているのだろう。

例

① タロが大きな声おおこゑでほえている。きっと、

とちゅうままで文が書いてあります。つづきの文を
かんがえて書こう。

つぎの 文しょうをよんてといに答えよう。

ふしぎないきものプイプイの家は、大きなもみ

の木にありました。とびらに、ちょっとまがつた

文字で「プイプイ」と書いてあるからすぐにわかれます。

① プイプイの家のうらには、青くすんだ、

きれいないすみがわき出でいました。プイプイは、

いつもそのいすみでゆっくりと口をすすぎ、ひげ

の先までていねいにあらい、がまのほでしつぼを

とかします。そんなときには、きまつてはなうた

をうたいます。けれど、そのはなうたがきこえる

のは、いつも雇ひました。プイプイは、とても

ねぼすけなのです。

(一) プイプイはどんないきものだとお話の中で
言われていますか。□の中に入ることばを書こう。

ふしぎな

ないきもの

がまのほでしつぼをとかす

ひげのさきまでていねいにあらう

ゆっくりと

口をすすぐ

青くすんだ、
書こう。

きれいないすみ

がわき出でている。

(2) 一せん① 「プイプイの家のうら」とあります
が、いつたい何があるのですか。□の中に入ることばを書こう。

(3) もういちど、一せん① 「プイプイの家のうら」と
あります。プイプイはここで何をするのですか。
三つ書こう。

つぎの文しようをよんどいに答えよう。

小とりたちは、夜あけがうれしいのです。夜は
目の見えない小とりたちは、くらい中で、じつと
小さくなっています。けれど夜があければ、とお
い山のずっとむこうまでも、青い空にうかぶくも
のあたりまでも、とんで行くことができるのです。
小とりたちは、まつたくじゅうになれるのです。
だから、小とりたちは朝のうたをかいっぱいうた
うのです。

(2) 一せん①「小とりたちは、夜あけがうれしい」と
あります。どうしてうれしいのですか。二つ書こう。

例 カラス

例 タカ

例 ウグイス

例 ムクドリ

例 カモメ

例 フクロウ

例 あたらしいあさがきた
きぼうのあさだ。
よろこびにむねをひらけ、
おおぞらあおげ。

(3) 一せん②「小とりたちは朝のうた」とあります
が、小とりがうたつていううたをそうぞうして、
にんげんのことばで書こう。

青い空にうかぶるものあたり

とおい山のずっとむこう
夜があければ、
までも、とんで行くことができる。

までも、とんで行くことができる。

つぎの 文しょうをよんてどいに答えよう。

えきちょうさんは、ふと小さいころにあそんだ
ゆめぶくろをおもい出しました。「ゆめ」と書い
たふくろに、ねがいごとを大ごえでふきこみ、口

をとじて火にくべると、ゆめがかなえられるとい

うのです。「子どもたちにも、きっとゆめがある
にちがいない。」えきちょうさんは、さつそく

おくさんにゆめぶくろをたくさん作ってもらいました。
そして、子どもたちにこえをかけました。

「みんな、このふくろにゆめを入れて、もってお
いで。それがキップだよ。」大きいゆめ、かわ

いいゆめ、きれいなゆめ。たくさんゆめぶくろ
があつまりました。「よしよし。これをせきたん
がわりに、きゅうべえに食べさせよう。わしも、

ひとつ、うんとでかいやつを作ろ。」きゅうべ
えのおなかに、ゆめぶくろを一つ入れると、どう

でしよう。えんとつから、むらさき色のけおりが
モクモク。もう一つ入れると、じょうきがシュー

と出ました。「わー、けむりが出た。きゅうべえ
はれ！」子どもたちは大よろこび。きゅうべえ

のからだに、力がわいてきました。

「もう、じつとしてはおれん。子どもたちのために走ら
なくちゃ。」きゅうべえは、うんとけむりをはいて、
じょうきをふきました。ワッショ、ワッショ。すると、
きゅうべえは、ゆっくり、空にのぼりはじめたではあり
ませんか。

(一) —せん① 「ゆめぶくろ」とあります。これは
何ですか。□の中に入ることばを書こう。

ゆめ

と書いたふくろに、

ねがいごとを大ごえで

口をとじて

火にくべると

ゆめがかなえられる

(2) 一せん②「たくさんの中のゆめぶくろがあつまりました」とあります。が、どんなゆめぶくろが、あつまつたのですか。三つ書こう。

大きい

かわいい

きれいな

ゆめ

ゆめ

ゆめ

きしや

(3) 一せん③「きゅうべえ」とありますが、
きゅうべえとは、何ですか。

(4) 一せん③「きゅうべえのおなか」とありますが、
きゅうべえのおなかにゆめぶくろを入れると、どんな
ことがおこりましたか。

えんとつから

モクモク

もう一つ入れると

じょうき

むらさき色のけむり

がシューと出ました。

(5) お話のさいごに、きゅうべえは、どこへむかって
走りはじめましたか。

ゆっくり

空にのぼりはじめた